

4 令和3年度（2021年度）の道教委の取組と成果

ほっかいどう学力向上推進事業【検証改善サイクルの確立】

事業内容

各管内及び各学校の検証改善サイクルの充実を図り、実態に応じた学力向上の取組を支援することにより、本道の児童生徒の学力向上を図る。



事業実施内容

○組織力強化会議（各教育局において年2回実施）

【第1回】

「管内学力向上ロードマップ」で明確化した管内の学力向上に向けた取組の方向性について共通理解を図るとともに、管理職のリーダーシップによる校内の組織体制や検証改善サイクルの確立を図る。

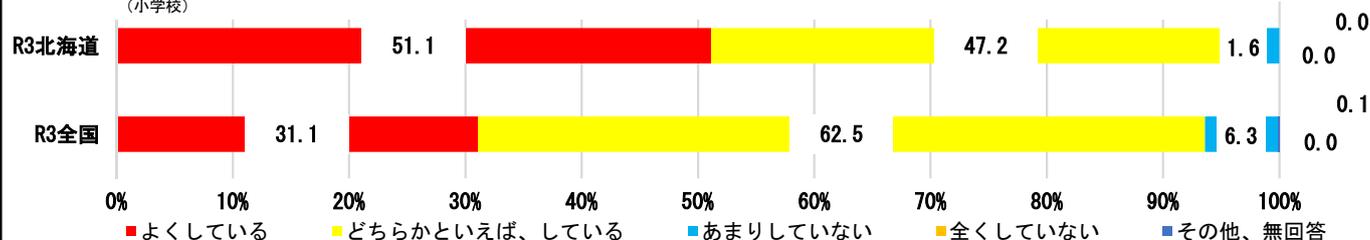
【第2回】

「管内学力向上ロードマップ」に基づく管内の重点的な取組や各学校における学力向上に係る取組の進捗状況について共通理解を図るとともに、各学校における今後の学力向上に向けた取組を明確にすることにより検証改善サイクル確立の促進を図る。

事業成果

○PDCAサイクルを確立していると回答している学校の割合は全国より高いが「よくしている」と回答した学校においても教科の平均正答率が全国を下回っている状況が見られる

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図るPDCAサイクルを確立していますか（小学校）



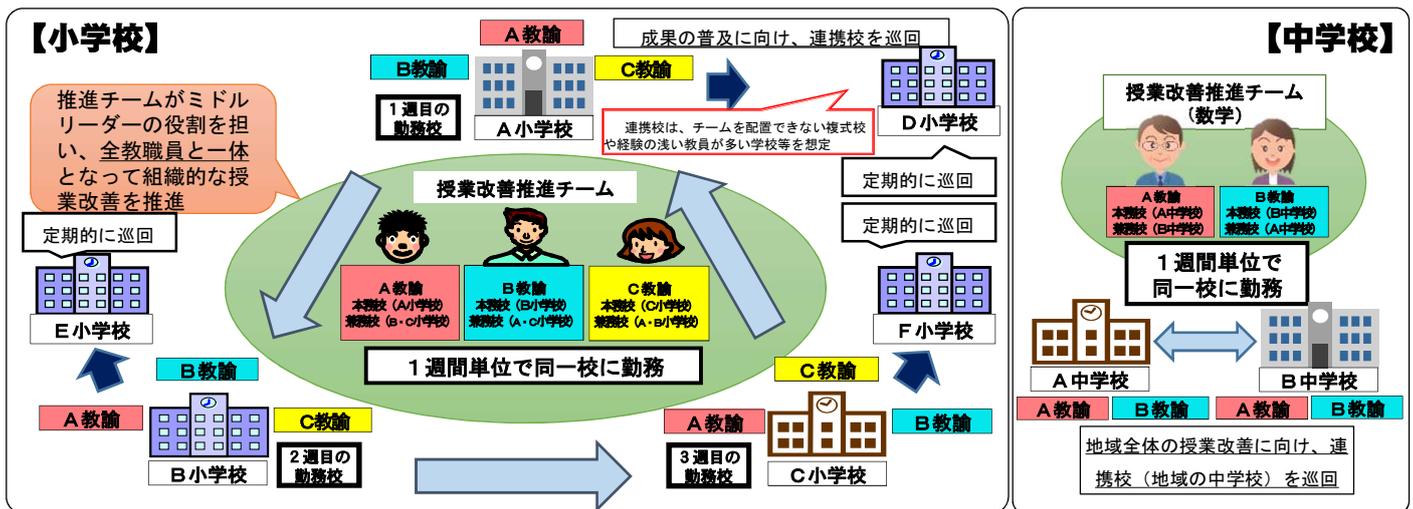
今後の方向性

- オンラインを活用するなどして、参加対象を拡大した組織力強化会議の工夫
- 「ほっかいどうチャレンジテスト」の結果分析を活用することによる明確な目標の設定と検証改善の質的向上を支援、チャレンジテストCBTの活用を推進

ほっかいどう学力向上推進事業【授業改善推進チーム活用事業】

事業内容

実践的指導力を有する教員（2～3名）が「チーム」となり、T・Tによる学習指導や全教職員との協働による授業改善、校内研修での資料提供、教員との協議等を実施。授業改善推進教員による配置校以外の学校へも巡回することで地域全体の学力の向上を図る。



事業実施内容

【小学校】

- 1週間単位で同一配置校にチーム全員で勤務
- 配置校の教員とともに学校の授業改善
- 配置校以外の連携校へも巡回することによる地域全体の授業改善の取組の普及
- ICT端末を活用した授業改善
- 映像版実践資料を作成、公表
- クラウドサービスを活用した推進教員間の交流

【中学校】

- 授業改善推進チーム（数学）を配置
- 地域全体の学力向上に向けた取組
- 数学の教材研究に資する資料を作成、公表

事業成果

○ チーム派遣配置校及び連携校の小学校においては、全道平均と比較し、配置校の点数の伸び幅が大きい【全国学力・学習状況調査】※全国平均を100とした場合

		国語						算数						
区分		国語 A			国語 B			区分	算数 A			算数 B		
		H30	R3	R3-H30	H30	R3	R3-H30		H30	R3	R3-H30	H30	R3	R3-H30
配置校		95.8	94.7	▲1.1	93.3	94.7	+1.4	配置校	94.2	94.9	+0.7	90.9	94.9	+4.0
道平均		99.2	97.7	▲1.5	96.3	97.7	+1.4	道平均	98.0	96.2	▲1.8	94.6	96.2	+1.4

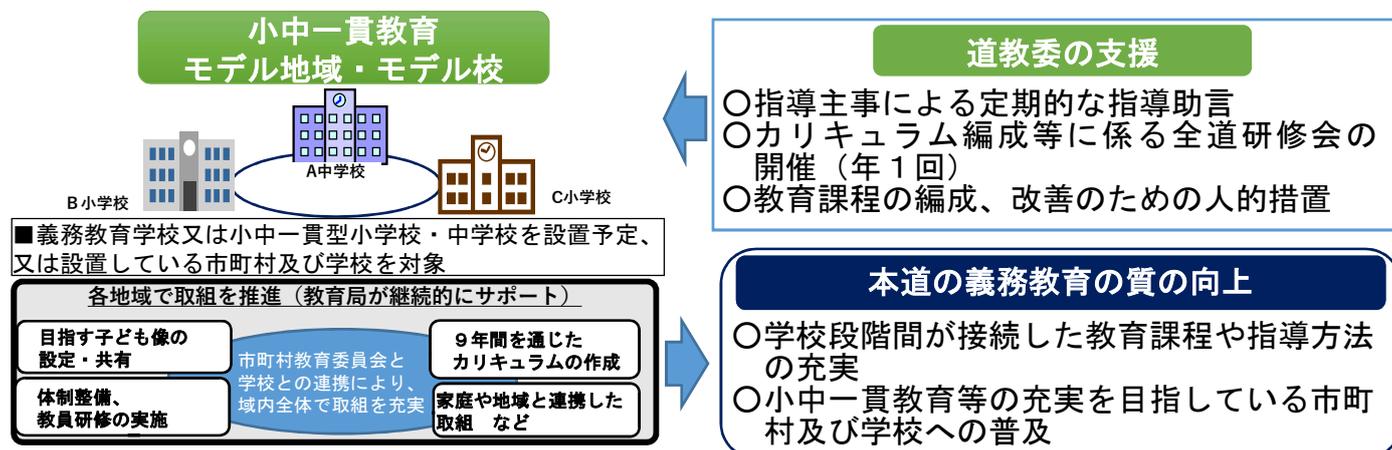
今後の方向性

- 配置校のほか、連携校への巡回の強化などにより、地域全体へ授業改善の取組を普及
- 映像版実践資料の普及により、1人1台端末を活用した学校全体の授業改善の推進

ほっかいどう学力向上推進事業【小中一貫教育サポート事業】

事業内容

中学校区における目指す子ども像の設定及び小・中学校の教職員・保護者・地域住民による共有、小・中学校9年間を通じた教育課程の編成・実施等、地域の実情に応じた小中一貫教育の導入及び円滑な実施への取組を支援することにより、義務教育の質の向上を図る。



事業実施内容

1 取組内容

- 義務教育9年間で育成する児童生徒の姿の設定（具体的な目標設定を含む）及び共有
- 児童生徒の課題を踏まえ、地域のよさを生かした9年間を通じた指導計画(教科・領域等)の作成
 - ①小中一貫教科等の設定 ②指導内容の入替え・移行 ③学年段階の区切り 等
- その他、小中一貫教育に必要と思われる取組

2 取組の検証

- 取組や成果等の評価・検証を行い、教育課程や指導方法の改善を図るなど、検証改善サイクルを確立

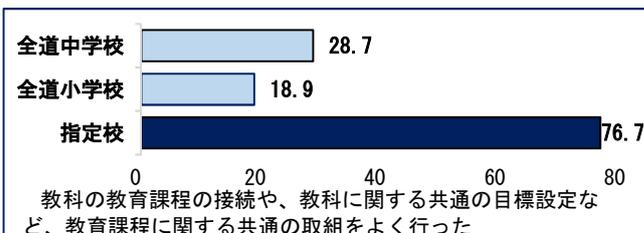
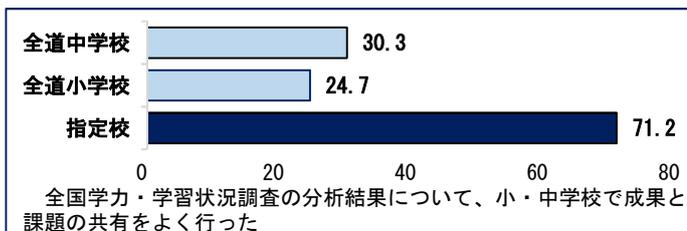
3 成果の普及

- 9年間を見通した教育課程の作成・普及
- 指定期間終了後モデル地域・モデル校として先導

事業成果

※小中一貫教育支援事業（H29～H31）、小中一貫教育サポート事業（R2～）における指定校の回答状況

○小中連携に関する質問項目において、全道平均と比較し、肯定的な回答をした学校の割合が高いが、そのような学校においても教科の平均正答率は全国を下回っている状況が見られる。



今後の方向性

- 成果の表れている学校の特徴的な取組を共有することによる質的向上の支援
- 指定地域や指定期間終了後モデル地域・モデル校の取組を実践事例としてまとめ、研修会等で普及することによる小中一貫教育の全道への普及

ほっかいどう学力向上推進事業【子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着事業】

事業内容

子どもと保護者の意識の向上を図り、子どもの望ましい生活習慣や学習習慣の定着に向けた取組を促進する。

背景

- 不規則な生活や朝食を食べないことにより、学習意欲や体力・気力の低下が見られるなど、生活習慣に課題
- テレビやゲームの時間が長いことにより、学習時間が短い状況が見られるなど、学習習慣に課題

【子どもと保護者の意識の向上を図る取組を効果的に展開することが必要】

事業実施内容

1 子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着フォーラム事業

対象：幼児及び小・中学生とその保護者、地域住民、団体関係者

委託方法：社会教育関係団体に公募委託

事業内容：講演等のプログラムを基本とし、生活習慣や学習習慣に関わる内容を含むものとする

2 子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業

対象：保護者、地域住民、教育関係者

実施地域：各14管内

事業内容：フォーラムの内容を踏まえ、講演等のプログラムを基本とし、各地域の生活習慣や学習習慣の定着を図る研修会を開催

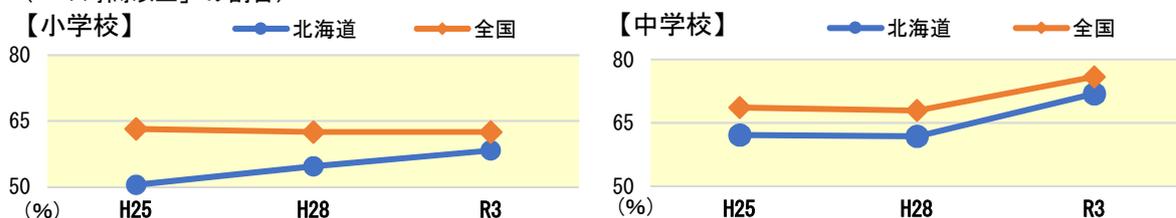
3 普及啓発

保護者向けリーフレットを作成・配布するとともに、各市町村の学校やPTAに対して普及啓発を行う

事業成果

○1日当たりの学習時間は年々増加しているが、全国を下回っている

「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)」(「1時間以上」の割合)



今後の方向性

- 啓発リーフレットや、保護者対象の研修会などによる地域と家庭に望ましい生活習慣、学習習慣の定着を働きかける取組の継続
- 学校、家庭、地域が相互に連携・協働して、子どもたちの学びを支える環境づくりを支援